

「ふるさと納税支援委託業務」に係る質疑内容

「ふるさと納税支援委託業務」に係る質問に対し、次のとおり回答します。

令和3年(2021年)9月3日 北海道総合政策部官民連携推進室

番号	該当資料名	質問事項	回答
1	企画提案説明書 2 企画提案しようとする者へ要求する資格 ア 道内に本社又は事業所等を有する企業であること	契約締結が決定し次第、北海道への事業所設置を検討する場合は、参加資格があると判断してよいのか。	お見込みの通り。 ただしその場合は、企画提案書において、設置を想定する事業所等の体制や規模等について、スケジュールとともに具体的にお示し願う。
2	企画提案指示書 3 委託業務の内容 (4)ア(ア) 委託期間中に追加するポータルサイト	ポータルサイトは、いくつ追加する想定か。	現時点で具体的に決まっているものではなく、追加する可能性があるということについて、ご承知おきいただきたい。
3	企画提案指示書 3 委託業務の内容 (4)ア(ウ) API連携が可能な管理システムの提供	API連携が可能な管理システムを提供するのではなく、ポータルサイトから管理システムへのデータ取込み作業を受託者側が行う方法に替えることは可能か。	API連携は、業務負担の削減だけでなく、個人情報保護の観点から必須としているため、ご質問の方法については、不可とさせていただきます。
4	企画提案指示書 3 委託業務の内容 (4)ア(ウ) API連携が可能な管理システムの提供	今後追加するポータルサイトが、API連携できない場合はどうするのか。	現時点で決まっているものではないが、今後追加するポータルサイトは、その時点で使用している管理システムとAPI連携が可能なことを条件として選定することとなるものと思料。 そのため、企画提案書には、現時点でAPI連携可能なポータルサイトのほか、今後API連携を検討しているポータルサイトについても記載していただきたい。
5	企画提案指示書 7 予算上限額	この金額は、ポータルサイトを追加した場合のものか。	現在契約している「ふるさとチョイス」のみを使用した場合の試算である。
6	企画提案指示書 8 業務処理に要する見積価額 (1) 期間内寄附金受入見込額	寄附金受付見込額が18,838千円となっており、昨年度の北海道の寄附受付額と大きく乖離しているが、なぜこのような数字となったのか。	昨年度は、本道の地域医療を守るための寄附「エールを北の医療へ！」を含む5つのクラウドファンディングを実施しており、例年の寄附金額よりも大幅に増加した。 今年度においては、新たに大規模なクラウドファンディングの実施予定がないことから、今回の試算の基準額からは除外したため、乖離が生じている。
7	企画提案指示書 9 著作権等の取扱い ア 著作権の帰属及び二次利用	二次利用をする際には、ふるさと納税関連業務に限るのか。 また、著作権の共同保有など、受託者に帰属することはないのか。	二次利用については、ふるさと納税関連業務に限られる。 著作権等の帰属については、契約時において、対象となる著作物の背景に応じて、個別具体的に相談させていただきます。
8	企画提案書	企画提案書の様式及びページ数は、標準様式と全く同じ必要があるのか。	作成要領で定められている必要事項が網羅されていれば、様式及びページ数は問わない。
9	その他	返礼品の追加にあたり、返礼品の産地である市町村への配慮は必要か。	広域自治体としての道の返礼品の意義を明確にし、市町村の返礼品と区別できることが重要と考えており、返礼品については広域自治体としての北海道ならではの観点から、ご提案いただきたい。